

第3学年 進路だより
令和5年11月10日(金)
第14号

羅針盤

連雀学園三鷹市立第一中学校
校長 宮城 洋之
第3学年 八島 真由美

卒業関係書類のための氏名確認の提出、ありがとうございました

確認していただいた氏名・生年月日で卒業予定者名簿を作成し、三鷹市に提出します。これを受けて、三鷹市が卒業証書の筆耕および印鑑刻印の発注を行います。お多忙のところ、ご協力いただきありがとうございました。

進路について学ぶ会がありました

武蔵野大学高等学校の中村好孝校長先生から、受験への心構えやこれからのどう過ごすかについてお話しいただきました。パワーポイントや映像、音楽を駆使し、クイズやゲームもとり入れたテンポよいお話に、生徒だけでなく私たち教員も引きつけられ、あっという間に時間が過ぎていきました。生徒の書いたお礼状を読むと、いくつか印象に残った言葉や内容があり、自分ごととしてしっかりと受け止め、学んだことが多いことが伺えます。一部を抜粋し、紹介します。ぜひ、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。



今日、中村先生の「前回と同じ勉強法じゃなにも変わらない」という言葉にハッとしました。今までの自分を振り返ってみると、確かに同じ授業の受け方をして、同じテスト勉強のやり方で勉強していました。なので、これからは授業の中で特に大事なところや、苦手なところを先生が話すときは姿勢をよくして聞いて、頭にいく酸素が多くなるようにしたり、色々なことに何故?と思ったり、自分を見つめなおして、リズムを変えていこうと思いました。

自分にとって、学ぶこと、気づかされることの多い、とても貴重な時間でありました。自分の中にもあった、「何故、勉強をするのか」という疑問への先生の考えを聞いて、これ以上の答えはないと感じました。自分の中にも第一志望の高校に受かって、今まで迷惑を掛けてきた家族や今までお世話になった人々へ報告し、安心してもらいたいと思っています。並大抵の努力では叶わないかもしれませんが、目的も気持ちも忘れずに、日々精進していきます。

「いつもと同じリズムでは、いつもと同じ結果しか得られない」という言葉が印象に残っています。今のままではよくないと思っている割に、生活リズムや授業の聞き方、勉強方法は何も変わっていないということに改めて気づけました。これからは、きちんとメリハリをつけて、目の前の受験だけでなく、進学した後も成長を続けられるように、努力したいと思います。

ゲームなどで自分を客観視することができ、今まで私がどれだけ先入観にとらわれていたかがよくわかりました。「先入観をとっばらう」ということが深く心に残りました。また、「何かを変えなければ何も変わらない」という言葉も印象に残っています。今の勉強法でよいのか、生活リズムも変えなければ、と自分を見つめなおすことができ、これで終わらせるのではなく、実践して結果につなげていきたいと思うことができました。

自分の将来を考える視野が広がりました。特に、「いつもと同じリズムでは、いつもと同じ結果しか得られない。結果を変えたいと望むのであれば、いつものリズムを変えるということが印象に残りました。合格したいのであれば、いつもの意識、生活、リズムを変えて、一生懸命結果を変えるために努力しなければいけないのだと気づかされました。

ゲームを通して進路のことだけでなく、「生きる」ことについてたくさんの学びが得られました。特に印象に残ったのは、先入観で自分の能力を決めてしまうことで本来の能力が発揮できなくなるということです。これは勉強だけでなく、スポーツや日常生活にも共通していえることだと感じました。自分の能力に加え、人と分かり合えなくなったり、新しい学びも、先入観があると得られなくなると思いました。また、自分にとっての受験の意味が少し変わり、今のままでは結果も変わらないと気づいたので、自分を見つめなおして有意義な景観を積みたたいです。

先生の「なぜ」という気持ちをつねに頭にいれながら生活していくのが大切だと聞き、自分はあまり自主的に調べたりはしなかったので、「なぜ」という疑問をもつことの重要さを知ることができました。また、今、勉強を頑張っ、将来世界のたくさんの人々を助けていけるように、笑顔にしていけるようにしていきたいと強く思いました。

姿勢をよくしたり、先入観に捉われないことも大切だと知りました。あと数か月、受験生として過ごす中で、心に刻んでおこうと思います。また、これから大人になっていく日々の中でも大切にしていきたいです。

特に印象に残っている話は、思い込みをしてはいけないということです。今までこの教科が苦手だと思っていた李、野球でもこのピッチャーは絶対に打てない、などを考えてしまっていたので、今後はそのような思い込みをすてていこうと思いました。ほかにも、今までとはリズムを変えて、今までとは違うよい結果を得られるようにしたいと思います。これからは自信をもち、色々な苦手なことにも挑戦できるような人になりたいと思いました。

先生がしてくださったクイズやゲームなどで、自分は今まで色々なことを思いこんでいたり、他人と価値観を合わせることはとても難しいのだとわかることができました。また、意外と自分はほかの人から見ると、自分が思っている自分と違っているということにも気づくことができました。受験において自分を支えてくれている人が多くいるということを改めて知れて、これからは常に色々な人や物に感謝しながら自分の将来を真剣に考え直していきたいと思います。

特に、投げたものは必ず返ってくるという言葉が印象に残りました。受験に対して不安でいっぱいだった気持ちも、今日のお話でこの言葉を聞いて、自分が勉強してきたことは合格という形で返ってくる信じて、今できることをもっと頑張ろうと思えることができました。自分の受験を支えてくれているすべての人や環境に感謝する気持ちを忘れずに、勉強に励んでいきたいと思います。

難しい問題を解けることより、ミスをしないうの方が重要だということや、先入観にとらわれては可能性が限られてしまうことなど、沢山のことを知ることができました。その中でも、特に、最後に見たビデオが深く印象に残りました。今まで当たり前前に受けきた授業を受けられない子どもや、筆記用具さえ十分に準備のできない子どもがいるという現実を目の当たりにし、今の自分はすごく恵まれていると気づけました。そして、改めて、「もっと努力しなければいけない」という覚悟を決めることができました。今後、今日の話を中心に留めて、沢山努力していきます。

受験用写真の撮影を12月1日（金）6校時に予定しています

受験用写真として、願書等に貼付して提出する写真です。希望者のみとなりますが、どこで撮影するにしても、撮影日までに髪型や服装など、身だしなみを整えておきましょう。後日、お知らせのプリント、撮影申し込み書、代金集金袋を配布します。データカードの仕上がりはおよそ1週間後となります。

気持ちを引き締めて日々の生活を送ろう～

期末テストまで、あと1週間を切りました。第2回進路面談も終わりました。「さあ、いよいよ入試に向けて取り組まなくては！」と、緊張感が高まる時期なのですが…自分の生活を振り返ってみて、どうでしょうか？ 3年2学期のこの時期に、余裕をもって登校できない人がまだいます。8時30分ぎりぎりに登校して走っている人たちは、心の余裕も持てるように少し早目に登校しましょう。また、まだ「教室移動をはやく」「積極的に授業を受けよう」「提出物を期限までにしよう」…などと言われるようでは、この先が心配です。授業中の姿勢はどうですか。背筋が伸び、きれいな姿勢で授業に取り組んでいますか。授業が始まる前に次の授業の教科書などを机の上に準備していますか。大事な時期だからこそ、基本に立ち返り、当たり前のことを当たり前にやり、いい雰囲気や授業に臨めるように、一人ひとりが心がけていきましょう。そしてしっかり勉強してください。自分のために、みんなのために、支えてくれているすべての人のために。

